

避難所 チェックリスト

モデルプランに加え、避難所の設置や運営の際に役立つチェックリストと、国や自治体の防災や避難に関するガイドライン情報へのショートカットリストを掲載しました。併せてご利用ください。

<input type="checkbox"/> 1	避難施設の建つ敷地の地盤高を確認しているか。 地域のハザードマップと照合しているか。	大規模な洪水が生じた際、避難所自体の安全性も確認しておきましょう。
<input type="checkbox"/> 2	避難所の耐震性を確認しているか。	強い余震等で倒壊する恐れは無いか、地震の後であっても十分な安全性を維持できる建物かどうか、あらかじめ確認しておきましょう。
<input type="checkbox"/> 3	避難所への道筋は確認してあるか。	避難ルートが分かりにくい場合は事前に十分な広報が必要です。 「逃げ地図」*などを使って地域毎に講習会を開催するのも防災意識を高めます。 万一他の避難施設への避難が必要になった場合のルートを確認しておきましょう。
<input type="checkbox"/> 4	避難所の収容能力などを確認しているか。	各避難所の収容人数や備蓄内容などを把握し地域全体として、総合的な避難所運営ができるよう準備しておきましょう。
<input type="checkbox"/> 5	機械換気設備は備わっているか。	健康で快適な居住環境を維持するためには、定期的な換気が必要です。 停電などで換気設備が動かない場合や、元々換気設備が備わっていない場合は、定期的に窓を開けて自然換気を行いましょう。
<input type="checkbox"/> 6	周囲から火が燃え移る可能性はあるか。	大規模な火災が生じた場合でも、周りから火災の影響を受けることが無いか、周囲の道路に十分な幅員があり、消防車や救急車が支障なく活動できそうか確認しておきましょう。
<input type="checkbox"/> 7	避難所の開場や運営の責任者は誰か。	避難所の開場判断、実際の開場者、運営責任者を確認しておきましょう。 民間施設を借用する場合は所有者や管理者と具体的な打合せをしておきましょう。
<input type="checkbox"/> 8	自治体や町内会などからの連絡系統は共有されているか。	
<input type="checkbox"/> 9	地域の災害対策マニュアルを予め確認しているか。	

<input type="checkbox"/> 1	避難所は周囲に比べて高い場所にある建物か。	水害、地震等、災害の種類に適した避難所か、確認しておきましょう。
<input type="checkbox"/> 2	階数は3階以上あるか。屋上に上がるか。	大規模な水害では、避難所の上階への避難が必要になる場合があります。
<input type="checkbox"/> 3	窓が開けられて換気が十分とれるか。	感染症対策のため、定期的に換気するようにしましょう。人が居住する室は、1時間に2回ほど数分間窓を全開にする必要があります。 複数の窓のある場合は、できるだけ2方向の窓を開放するようにしましょう。
<input type="checkbox"/> 4	避難所の応急危険度判定を専門家(一級建築士)が行い、避難所として適切であることが確認されているか。	公的な建物は、一般的な建物より耐震強度が高く、補強工事等が進んでいますが、構造体以外の部材(外壁、ガラス窓、内壁、天井、建物の小さな付属物、設備機器等)については補強工事が進んでいません。耐震性能は一般建物と同じですので注意しましょう。特に鉄骨造の建物は、地震の際大きく変形しますので構造体以外の部材の脱落や破損が多くなります。地震が起きたら、専門の応急危険度判定員(一級建築士)に、避難所として安全か判定してもらいましょう。
<input type="checkbox"/> 5	受付に医療関係者がいて、感染者に対応できるか。	・できれば受付では医療関係者に、傷病者・病人・感染者等を分類してもらいましょう。 発熱などの感染症状のある人は、指定避難所等への隔離避難所への搬送が必要です。 ・傷病者の応急処置や後方医療施設への転送を待つためのスペースとして、保健室を救護所としての利用を検討しましょう。緊急時には限られた医療資源を臨機応変に活用しましょう。
<input type="checkbox"/> 6	受付で個人情報を聴取し記録に残しているか?	避難者の配置や避難所の運営のために、避難者の氏名、住所、携帯番号、家族構成を受付で聴取し記録しておきましょう。
<input type="checkbox"/> 7	受付に体温計・アルコール消毒液が置いてあるか。	感染症防止機器を配備しましょう。
<input type="checkbox"/> 8	受付に掲示板が設置されているか。	避難者が必要な情報を迅速に共有できるようにしましょう。 大きな文字やスケッチを活用して、子供からお年寄り、外国の方々まで理解しやすいよう工夫しましょう。
<input type="checkbox"/> 9	廊下・階段に通行の障害となる物が置かれていないか。	余震などで避難所から外に避難する場合に備え、廊下・階段には物を置かずに十分な幅(1.8m以上)を確保しましょう。
<input type="checkbox"/> 10	屋上に通じる扉の鍵は施錠してあるか。	屋上に通じる階段は安全のために施錠しておきましょう。
<input type="checkbox"/> 11	感染者エリアは他のエリアと離してあるか。特に動線も分けてあるか。	感染者等エリアとその他のエリアは明確に分け、動線も分離しましょう。 建物への入口も別々に設けて、建物内の往来ができるないようにしましょう。
<input type="checkbox"/> 12	体育館など天井の高い場所は、足元の窓と反対側の高窓を開けて換気しているか。	向かい合った窓は片側が高い場所で反対側低い場所で開放すれば効果的に換気できます。 体育館には空調設備が備わっていないことが多いので、夏季・冬季の気温には十分注意しましょう。
<input type="checkbox"/> 13	普通教室の机、備品などを特別教室に移動し、室内を広く使っているか。	固定机があって居住スペースとしては利用しにくい特別教室に、普通教室の机や備品を移動させましょう。
<input type="checkbox"/> 14	教室以外の広いスペースは、通路幅が確保できるのであれば居住スペースとして有効に使っているか。	十分な通路幅が確保できれば居住スペースとして活用できますが、通過動線に面する場合はプライバシーに対する配慮が必要です。
<input type="checkbox"/> 15	固定机や特別な設備がない特別教室は居住スペースとして有効に利用しているか。	固定机や特別な固定設備がない場合は、普通教室のように居住スペースとして活用が検討できます。
<input type="checkbox"/> 16	固定机や特別な設備がある特別教室をボランティアスペースなどに有効利用しているか。	固定机がある、特別な設備がある教室でも管理・ボランティアスペースとして活用が検討できます。
<input type="checkbox"/> 17	一般避難者の居住スペースは教室や会議室など小部屋を優先的に使っているか。	体育館などの大広間を使用する場合は、大きなブロック分けをし通路を1.0m以上設けパーテーションで仕切りましょう。出入り口は、オープンとし窓を開放し十分な換気に気を付けましょう。
<input type="checkbox"/> 18	共有スペースを人目に付きやすい場所に配置できているか。	面積にゆとりがあれば、遊び、コミュニケーション、礼拝などのためのスペースとして柔軟に使い方を考えましょう。
<input type="checkbox"/> 19	倉庫や配給所の場所は、搬入から配布までの物の流れを考慮しているか。	支援物資の運搬や配布を円滑に行えるよう、物の動く経路を検討しましょう。

<input type="checkbox"/> 20	物干し場は屋外に設けられているか。	物干し専用のスペースを軒下や屋外に作りましょう。 特に夏場に室内に洗濯物を干すと湿度が上がり室内環境が悪化する恐れがあります。
<input type="checkbox"/> 21	屋外に入浴や炊事など、自衛隊の支援を受入れるためのスペースが確保されているか。	自衛隊の被災地支援活動を受けられる場合があります。 入浴スペース(15mx20m程度)や炊事車のスペース(適宜)が確保できるように空けておきましょう。
<input type="checkbox"/> 22	キャンプ用品を活用しているか。	屋内の避難スペースが十分でない場合もあります。 キャンプ用のテントなども活用して屋外空間を活用しましょう。
<input type="checkbox"/> 23	炊出し時などに人が密集していないか。	炊出し時には人が密集しないように注意しましょう。飲食は各自の居住スペースで行うようにしましょう。 既存の給食施設を活用して、炊き出しの搬送経路の利用や備品の活用を検討しましょう。

<input type="checkbox"/> 1	高齢者・要介護者のスペースは確保されているか。	避難所生活で体調を崩し、健康を損なう危険性があります。常に目配りしておきましょう。 一般避難所で生活が困難な場合は地域の福祉避難所への移送も考えましょう。
<input type="checkbox"/> 2	高齢者・要介護者に配慮されたスペースであるか。	できるだけ受付やトイレに近いところに配置しましょう。 段差や上り下りの少ない場所であることも配慮しましょう。
<input type="checkbox"/> 3	要介護者のトイレは確保されているか。	出来れば専用のトイレであることを表示しましょう。
<input type="checkbox"/> 4	妊娠婦がいる世帯用のスペースは確保されているか。	慣れない環境で心身ともに大きな影響を与える可能性があります。衛生的でプライバシーを確保できるようにしましょう。専用の母子避難所が設置される場合もありますので確認しておきましょう。
<input type="checkbox"/> 5	足元が見えづらい妊娠婦に配慮されたスペースであるか。	妊娠中後期には足元が見えづらく転倒の恐れもあるので段差の少ない場所にするなどの配慮も必要です。
<input type="checkbox"/> 6	姿勢や気温など、妊娠婦の体の負担に配慮はなされているか。	物資配給時など長時間立っていたり重いものを持ったりすることができないように配慮しましょう。 また体が冷えやすいので毛布や暖房器具の配慮も必要です。
<input type="checkbox"/> 7	乳幼児がいる世帯用のスペースは確保されているか。	騒音を心配する親のストレスに対しても配慮しましょう。 夜泣きの際、外に出やすい出入り口のそばなどに配置するなど検討しましょう。
<input type="checkbox"/> 8	授乳室はあるか。	人目を気にせず安心して授乳できる場所を確保しましょう。
<input type="checkbox"/> 9	オムツ交換スペースはあるか。	衛生面に配慮された、専用のスペースを用意しましょう。
<input type="checkbox"/> 10	子供の居場所はあるか。	面積にゆとりがあれば、避難所内で子供たちが遊べる場所を確保しましょう。
<input type="checkbox"/> 11	外国語のわかるボランティア・NPO等の手助けは得られているか。	言葉の壁によって状況把握などが難しく、不安な状況に陥ることが無いよう、 ボランティアや多言語の指差しボードの活用など情報弱者が生じないように配慮しましょう。
<input type="checkbox"/> 12	宗教や文化の違いなどによる配慮はされているか。	宗教上の事情により食べられないものなどについて配慮しましょう。 また1日に何回かお祈りをする方のためのスペースにも配慮しましょう。
<input type="checkbox"/> 13	女性のみの世帯及び単身者専用の居住スペースはあるか。	避難所生活が長期化する場合、集団生活のストレスを軽減するため、専用のスペースを用意しましょう。
<input type="checkbox"/> 14	女性専用の配給所はあるか。	女性用品は専用の場所で女性が管理し配布するなどの配慮をしましょう。
<input type="checkbox"/> 15	性別に配慮した更衣室やトイレの設置がなされているか。	可能であれば女性専用の物干し場なども設置しましょう。
<input type="checkbox"/> 16	感染症陽性者および感染の疑いのある方専用のスペースは確保されているか。	
<input type="checkbox"/> 17	感染症陽性者および感染の疑いのある方が使用する備品等は専用のものとなっているか。	ゴミ箱やトイレ、物資置き場も専用のものを設置し確実に隔離できているか確認しましょう。
<input type="checkbox"/> 18	帰宅困難者用のスペースは確保されているか。	帰宅できなかった会社員・観光客等が一時的に利用することも考えておきましょう。 情報の提供が必要な場合もあります。
<input type="checkbox"/> 19	ペット等の受け入れ体制は整っているか。	一般の避難スペースと仕切られたスペースを準備し、世話や食料は飼い主が行うなどのルールを決め、見やすいところに掲示しましょう。

<input type="checkbox"/> 1	情報通信機能は確保されているか。	避難時は、情報の取得、関係者への連絡などが大変重要です。 情報機器用の充電設備と共に用意しておきましょう。
<input type="checkbox"/> 2	避難者が自宅で使っていた医療機器用の電源は確保できているか。	避難所で在宅時に使用していた医療機器を使用する場合にはそれらに応じた電源が必要です。 あらかじめ使用機器設備を想定し、用途に応じた電源設備を使えるようにしておきましょう。
<input type="checkbox"/> 3	非常時に使える仮設トイレはあるか。	想定される避難人員に対して、設置数が足りるか調べておきましょう。
<input type="checkbox"/> 4	冷暖房機はあるか。	部屋別に確認して、被災時にも使えるか調べましょう。
<input type="checkbox"/> 5	水道は使えるか。	水道が使えない場合は、受水槽やプールに溜まっている水などを使う事も考えましょう。
<input type="checkbox"/> 6	下水道は使用できるか。	
<input type="checkbox"/> 7	電気は供給されているか。	
<input type="checkbox"/> 8	都市ガスは使えるか。	都市ガスが使えても、電気が無いと安全に使えない機器があるので、注意しましょう。

<input type="checkbox"/> 1	発電機の出力は、使用する電気機器の起動電力以上か。	電気機器の消費電力より起動時の起動電力が高い場合があります。発電機が正常に働かないことがあります。 また、発電機の出力に合わせて機器の使用を検討しましょう。
<input type="checkbox"/> 2	発電機の種類はインバーター発電機か。	パソコンやマイコン内蔵の電気機器を繋げる場合は、周波数や電圧の変動が少ないインバーター発電機を選びましょう。
<input type="checkbox"/> 3	発電機の設置場所は騒音・排気を考慮しているか。	
<input type="checkbox"/> 4	発電機の燃料の種類を確認したか。	・カセットガス：調達しやすく保管しやすいですが、出力は小さめです。 ・LPガス：日常利用のガス設備と併用可能です。専用のガスコード接続工事が必要となります。 ・ガソリン：高出力ですが、長期の備蓄が困難です。危険物なので保管は要注意です。
<input type="checkbox"/> 5	電圧や容量など、用途に見合ったバッテリーが用意されているか。	情報機器の充電用、避難者が使っている医療機器の電源用など、用途は沢山あります。 十分に充電されているか定期的にチェックしましょう。 ハイブリッドカーなどは走行用の蓄電池が非常時の電源としても使えます。
<input type="checkbox"/> 6	乾電池を備蓄しているか。	スマートフォンの充電、ラジオ、懐中電灯など多くの用途に使えます。
<input type="checkbox"/> 7	情報通信機器などに使える充電器を用意しているか。	機器によって安全に使用できる充電器は異なりますので、注意が必要です。
<input type="checkbox"/> 8	タップにタコ足配線をしていないか。	容量を超える機器を繋ぐと発熱・発火の恐れがあります。
<input type="checkbox"/> 9	換気のルートに沿って扇風機が設置されているか。	暑さ対策のほか、換気の補助にも活用できます。 窓を開けて換気する際に、淀みがないように扇風機によって空気の流れを作りましょう。
<input type="checkbox"/> 10	暖房機の燃料の種類を確認したか。	消費電力の大きい暖房機は電力が供給不足になる可能性があります。 石油ストーブやガスストーブなどは燃料の備蓄・供給を考慮しましょう。
<input type="checkbox"/> 11	暖房機の使用時も定期的な換気をしているか。	暖房使用時は窓を閉め切りがちですが、感染症予防のためにも定期的な換気を心がけましょう。 火災に注意しましょう。
<input type="checkbox"/> 12	スマートフォン対応無線LANスポットは整備されているか。	一度に大人数が接続すると使えなくなることもありますので注意しましょう。
<input type="checkbox"/> 13	受付に近い位置に大型TVが設置されているか。	被災状況など情報の共有に有用です。多くの人が密集しないように広い場所を選びましょう。
<input type="checkbox"/> 14	ダンボールは備蓄されているか。	ダンボールは簡易間仕切りや簡易ベッドに利用できます。 非常食用ダンボール箱でこれらに転用できるものがあります。
<input type="checkbox"/> 15	キャンプ用品は活用できるか。	避難所生活を快適に過ごすためにキャンプ用品（テント・タープ・ランプ・寝袋・エアマット・ガスコンロなど）を活用しましょう。避難者が持ち込んだテントなどは周囲とのトラブルの原因になる場合があります。設置場所は十分に検討しましょう。
<input type="checkbox"/> 16	CO2濃度簡易測定器を活用して、換気回数の目安となる空気の汚染度を測定しているか。	室内がどの程度換気されているかは目に見えないので、測定器の数値を目安に換気回数を調整しましょう。
<input type="checkbox"/> 17	CO2濃度簡易測定器の精度を確認したか。	高い測定精度は不要ですが、外気や明らかに汚染度が高い場所で試してみて、機器の精度は確認しておきましょう。
<input type="checkbox"/> 18	手動の可搬式送水ポンプを備えているか。	電源が無くとも、非常用貯水槽、災害用井戸、プールなどから人力で水を送ることができます。
<input type="checkbox"/> 19	ラジオを用意しているか。	中波、短波、FMなどが受信できれば便利です。
<input type="checkbox"/> 20	安全帽を用意しているか。	
<input type="checkbox"/> 21	ハンドマイクを用意しているか。	